# 科研費

## 科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 30 年 5 月 22 日現在

機関番号: 32675

研究種目: 基盤研究(C)(一般)

研究期間: 2014~2017

課題番号: 26380403

研究課題名(和文)金融ネットワークと金融公共財:動学相関GARCH・ネットワーク理論・集計ゲーム

研究課題名(英文)Financial Network and Financial Public Good: DCC-GARCH, Network Theory, Aggregate Game

研究代表者

宮越 龍義 (MIYAKOSHI, Tatsuyoshi)

法政大学・理工学部・教授

研究者番号:60166139

交付決定額(研究期間全体):(直接経費) 3,600,000円

研究成果の概要(和文):本研究の成果は(i)動学的相関GARCHモデルを使ってネットネットワーク理論のノード(各国金融市場)とエッジ(市場間の相関係数)を推定し、アジア金融市場のネットワーク構造を現状認識した。(ii)すでに推定されているアジア金融市場のネットワーク構造を使って、コストがより小さくなるように金融公共財をノードやエッジに配置する理論と金融政策の構築を試みた。

研究成果の概要(英文): This project has theoretically and empirically examined Asian financial network during 2000 and 2017 by using DCCGARCH model. Moreover, we explored the economic policy to achieve network efficiency.

研究分野: 金融論

キーワード: 金融ネットワーク 動学的相関GARCH 国際金融公共財 集計ゲーム

### 1.研究開始当初の背景

(1) アジア金融市場ネットワークの現状認 識。各国金融市場の相互間依存関係は、ある 国の資産価格から別な国の資産価格への因 果関係の計測によって、しかも、アジア通貨 危機や世界金融危機の期間において分析さ れてきた。たとえば、Reinhart&Rogoff (2008, 2009, AER), Melvin&Taylor(2009, J. of IMF), Corsetti et al. (1999, 2006, EER), U かし、先験的に与えた数か国について、さら に、金融危機という異常な期間において、 Granger 因果性を計測したもので、すべての 国の平時におけるノード(各国金融市場)と エッジ(市場間の距離)を計測したものでは ない。すなわち、私の知る限りではアジア金 融市場ネットワークの現状認識をした研究 はない。ネットワーク理論の金融論への応用 はまだ緒に就いたばかりである。実際、Miniu &Reyes(2013, J. of Financial Stability)はエ ッジの長さを貸付金額として現状認識をし た。また、社会科学への応用を示唆した教科 書としては Wasserman&Faust (1994, Cambridge UP)がある。(2)ネットワーク理論 と金融公共財理論。ネットワーク理論は、-時、「ニューラルネットワーク理論」として 経済学に応用されたこともあった。しかし、 近年、金融危機が頻繁に起きたことから、そ の応用に期待がもたれている。 ノード(各国 金融市場)とエッジ(市場間の距離)を計測し て、このエッジに、ノードのリスクでウェイ ト付けをしてコストと見做し、市場コストを 最小にする最短経路問題を解く、というもの である。そのほか、ハミルトン閉路問題、最 小全域木問題など数多くの金融論への応用 の可能性を備えている。しかし、Wong&Guan (2011)や Georg(2013)などが最短経路問題を シミレーションすることでネットワーク理 論の金融論への応用の可能性を示したとい える。金融公共財理論については、Ihori (2002, JER) は金融市場で公共財の特性を持 つ財を金融公共財と名付け、金融危機の研究 に金融公共財の導入を提唱している。他方、 ネットワーク理論はアイデアをネットワー ク図で示せること、また、数値計算をするこ とから、公共財理論も図解と数値計算のでき るものでなければならない。Cornes&Hartley (2007,J.PET)は集計ゲーム構造を明らかにし てナッシュ解を図によって求めた。さらに、 コップダグラス型効用関数にして、解のアル ゴリズムを定式化することで、数値解を求め たのが Miyakoshi&Suzuki(2013)、さらに、2 公共財に拡張したのが、Cornes&Itaya (2010), Suzuki, Mivakoshi&Itava (2013)である。(3)政策。 推定されたアジア金融市場のネットワーク 構造を使って、最短経路問題、さらに、ハミ ルトン閉路問題、最小全域木問題など数多く の金融論への応用問題を解き、その中で、金 融公共財の配置問題を考察することが可能 であるが、こうした研究は無く、まだ緒に就 いたばかりである。

#### 2.研究の目的

(1)ネットワークの現状認識。Engle(2002. J. of Business and Economic Statistics)によ って開発された動学的相関 GARCH モデルを使 って、ネットワーク理論のノードとエッジを 推定し、このエッジに、ノードのリスクであ る国債格付けを使ってウェイト付けをして、 コストを計算し、アジア金融市場のネットワ ーク構造を現状認識する。(2)ネットワーク 理論と金融公共財理論。Cornes&Hartley (2007, J.PET), Miyakoshi & Suzuki (2018: PER), Suzuki, Miyakoshi&Itaya (2013, AsianMeetin gofEconometric Society) などの集計ゲーム タイプの公共財理論を金融公共財理論へと 拡張し、この金融公共財がノードのリスクや エッジの長さにどのように影響するかを理 論的に定式化する。(3)政策。推定されたア ジア金融市場のネットワーク構造を使って、 Wong&Guan(2011, J. B&F) \* Georg(2013, J.B&F)の定式化に従いつつ、最短経路問題を 解き、さらに、どのノードやエッジに金融公 共財を配置するとコストは減少するのかを 検証する。すなわち金融公共財を配置してア ジア金融市場の整備と充実を模索する。

#### 3.研究の方法

動学的相関 GARCH モデルを使ってネットワーク理論のノードとエッジを推定し、このエッジに、ノードのリスクである国債格付けをしてウェイト付けをして、コストを計算し、アジア金融市場のネットワーク構造を現水部では推定されているアジア金融市場のネットワーク構造を使って、最小コストが小さくなるより金融公共財をノードやエッジに配置する、という研究である。したがって、現状認識に理論編・政策編に分けて分析を積み重ねる、という方法を採用する。

#### 4. 研究成果

金融ネットワークとして金融公共財をテー マとして、(1)ネットワークの現状認識。 Engle (2002, J. of Business and Economic Statistics)によって開発された動学的相関 GARCH モデルを使って、ネットワーク理論の ノード(各国金融市場)とエッジ(市場間の相 関係数)を推定し、このエッジに、ノードの リスクである国債格付けや発行残高を使っ てウェイト付けをして、コストを計算し、ア ジア金融市場のネットワーク構造を現状認 識した。(2)ネットワーク理論と金融公共財 理論。Cornes&Hartlev(2007.J.PET). Miyakoshi&Suzuki(2018:PER), Suzuki, Miyak oshi&Itaya(2013, AsianMeetingofEconometr ic Society) などの集計ゲームタイプの公共 財理論を金融公共財理論へと拡張し、この金 融公共財がノードのリスクやエッジの長さ にどのように影響するかを理論的に定式化 した。(3)政策。推定されたアジア金融市場

のネットワーク構造を使って、Wong&Guan (2011, J. B&F) や Georg (2013, J. B&F) の定式化に従いつつ、最短経路問題を解き、さらに、どのノードやエッジに金融公共財を配置するとコストは減少するのかを検証したが、はっきりとした結論は得られずパラメータの大きさ次第であることがわかった。したがって、金融公共財の配置も市場ごとにより異なり、むしろ、その配置でパラメータを変更させることを考えなければならない。

5 . 主な発表論文等 (研究代表者、研究分担者及び連携研究者に は下線)

## [雑誌論文](計 9 件)

Miyakoshi,T.and Shimada,A." Which countries show favor toward negative, zero or positive population growth?", Applied Economics Letters, Forthcoming, 2018. 查読有.

Miyakoshi,T."Why did technical knowledge fall out of favor during Japan's Lost Two Decades?", Japan & The World Economy, Vol.43, p. 1-13, 2017. 查読有.

Miyakoshi,T.and Zhao,,L. "Multi-National Public Goods Provision under Multilateral Income Transfers & Productivity Differences", Applied Economics, Vol.49, p. 5771-5779, 2017. 查読有.

TsukudaY, Shimada,J.and Miyakoshi,T."Bond market integration in East Asia:multivariate GARCH with dynamic conditional correlations approach", International Review of Economics and Finance, Vol.51,193-213, 2017. 查読有 Miyakoshi,T.,Shimada,J. and Li, KW., "The Dynamic Effects of Quantitative Easing on Stock Price: Evidence from Asian Emerging Markets, 2001-2016", International Review of Economics and Finance,Vol.49, p.548-567. 2017. 查読有

Miyakoshi,T. and Suzuki,K." Why do only the G7+2 countries among United Nations members discuss about international public goods?: A simulation study", Applied Economics, Vol.49, p. 5134-5143, 2017. 查読有. Miyakoshi,T.,Shimada,J. and Li, KW., "The Impacts of the 2008 and 2011 Crises on the Japan REIT", Journal of the Japanese and International Economies, Vol.41, p.30-40. 2016. 查読有

Miyakoshi, T., Tsukuda, Y. and Shimada, J. "Magnitudes of Market

Inefficiency: Theory and Application", Japan and the World Economy, Vol.39, p.23-36. 2016. 查読有

<u>Miyakoshi,T.</u> "International aid from the recipient perspective: public or private good input assistance?", Applied Economics, Vol.48, p. 4337-4349, 2016. 查読有.

#### [学会発表](計 19 件)

Miyakoshi, T." International aid from the recipient perspective: public or private good input assistance?", Asian Development Conference, 2017年12月 (Hong Kong)

Miyakoshi, T. "Post-Crisis Surge in Hong Kong Real Estate Prices: Quantitative Easing and REIT Markets Developments", Annual Conference on Pacific Basin Finance, Economics, Accounting, and Management, 2017年11月(Singapore) Miyakoshi, T. "Is Zero Population Growth Optimal in an Aging European Society?", Singapore Economic Review Conference, 2017年8月(Singapore)

Miyakoshi, T. "Upswings of Hong Kong Real Estate Prices in Post-Crisis Surge: Quantitative Easing and REIT Markets Developments", Asian Meeting of Econometric Society, 2017 年 6 月(Hong Kong)

Miyakoshi, T. "Upswings of Hong Kong Real Estate Prices in Post-Crisis Surge: Quantitative Easing and REIT Markets Developments", The 7th International Conference of the Japanese Accounting Review, 2017年1 月(Kobe)

Miyakoshi, T. "Optimal Population Growth in European Aging Society", The 9th Biennial Conference of Hong Kong Economic Association,2016年12 月 (Hong Kong)

Miyakoshi, T. "International R&D Transfer and Technology Absorption: Technical Efficiency in Asian Countries 1994-2011", Asia Meeting of the Econometric Society,2016年8月(Kyoto)

Miyakoshi,T. and Shimada,A. "Do the young rely on migrants for the elderly care?",日本経済学会春季大会,2016 年 6 月(名古屋)

Miyakoshi,T. and Shimada,A. "Do the young rely on migrants for the elderly care?",日本応用経済学会春季大会,2016年6月(広島)

Miyakoshi, T. "Upswings of Hong

Kong Real Estate Prices in Post-Crisis Surge: Quantitative Easing and REIT Markets Developments", The 24th Annual Conference on Pacific Basin Finance, Economics, Accounting, and Management, 2016年6月(Taiwan) 島田章・<u>宮越龍義</u>, "Do ageing societies need more immigrants to provide the elderly with care?",日本経済学会秋季大 会, 2015年10月(東京) 宮越龍義, "International R&D Transfer and Technology Absorption", 日本国際経済学会, 2015年6月(大阪) Miyakoshi, T., Tsukuda, Y. and Shimada, J. "Measuring the Size of Market Inefficiency: Trading Systems and Price Bubbles". 日本金融学会西日 本部会, 2014年12月(福岡) Miyakoshi, T., Shimada, J. and Li, KW., "Dynamic Effects of Quantitative Monetary Easing on Stock Price in the Asian Emerging Markets: 2001-2013 in Carry Trade", The 13th International Conference of the Japan Economic Policy Association, 2014 年 11月(Tokyo). Miyakoshi, T. "International Aid: Public or Private Good Input Assistance?", 日本国際経済学会, 2014 年 10 月(京都) Tsukuda, Y., Shimada, J., and Miyakoshi, T, "Bond market integration in East Asia: a multivariate GARCH with dynamic conditional correlations approach", 日本経済学会秋季大 会,2014年10月(福岡) Miyakoshi, T., Shimada, J. and Li, KW., "Quantitative Monetary Easing and Stock Price in the Asian Markets", The 22nd Annual Conference on Pacific Basin Finance, Economics, Accounting, and Management, 2014年09月 (Nagoya) Miyakoshi, T. "ODA and Public Good Input: Indochinese Peninsula", Asia Pacific Economic Conference, 2014年7 月(Bangkok) Tsukuda, Y., Shimada, J., Miyakoshi, T, "Bond market integration in East Asia: a multivariate GARCH with dynamic conditional correlations approach", Asian Meeting of Econometric Society 2014年6月 (Taipei)

## 6. 研究組織

## (1)研究代表者

宮越龍義(MIYAKOSHI, Tatsuyoshi) 法政大学・理工学部・教授 研究者番号:60166139